

# 生成AI導入検討ワークショップでの研究を踏まえたロードマップ

- ✓ これまでの研究から「一般的な課題解決のアプローチ」、「文書の要約」や「アイデアの創出」に有効性が認められた。行政事務の効率化に寄与すると考えられる。
- ✓ 利活用の際し、利用者のリテラシー向上が求められる。
  - ・「プロンプトエンジニアリング」  
より有効な回答を導くための「プロンプト」作成能力  
※プロンプトエンジニアリング…AIに対して適切な質問や支持を与えることで、より望ましい結果を引き出す技術のこと。
  - ・「回答読解能力」  
得られた回答を次のプロンプトに活かすためのマインドマップ能力
  - ・「情報セキュリティ」  
安全に利活用するためのルール作り（禁止事項の整理）が必要

6月	7月	8月	9月	10月	11月
★6/12_市職員による利活用研究ワークショップキックオフ ★6/30_中間とりまとめ					
WS	WS（Z世代の若手職員やデジタルリーダーを中心に継続）				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の継続（広域圏自治体職員や市民参加型のワークショップ等）</li> <li>・禁止事項の整理（DX戦略課）</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドライン（案）の策定</li> </ul>			★10/未定_ 「（仮）生成AI利活用ガイドライン」策定	
	★7/21_DX関連6法活用推進本部				
		★8月下旬_ 「（仮）生成AI利活用のためのプロンプトエンジニアリング研修」			
				生成AIの運用開始	